2023 年 4 月 28 日

三菱 UFJ 信託銀行株式会社

札幌宿泊施設を投資対象資産とするセキュリティトークン及び
付帯するユーティリティトークンの発行について

三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長: 長島(ながしま) 巖(いわお)、以下 三菱 UFJ 信託銀行）は、オリジネーターとしてのケネディクス株式会社（以下 ケネディクス）、引受事務主幹事としての大和証券株式会社（以下 大和証券）と協働し、三菱 UFJ 信託銀行が開発し、2023 年 9 月以降に独立会社「株式会社 Progmat（仮）」に移管予定であるデジタルアセット全般の発行・管理基盤「Progmat（プログマ）」を活用して、受益証券発行信託スキームを用いた資産裏付型セキュリティトークン（以下 資産裏付型 ST）を新たに発行しましたので、お知らせいたします。

今回公募を実施した資産裏付型 ST（以下 本 ST）は、三菱 UFJ 信託銀行が受託者を務める札幌市に立地する宿泊施設「ONSEN RYOKAN 由縁 札幌」（以下 投資対象不動産）の不動産信託受益権を原資産として、当該不動産信託受益権を信託財産とする受益証券発行信託を組成し、当該受益証券発行信託の受益権を小口化したセキュリティトークンとして投資家へ販売されました。なお、募集は既に終了し、完売しております。

また、本 ST には、投資対象不動産内で販売されているお土産の交換権（税込 1,930 円相当）がユーティリティトークン（以下 UT）として付与される予定です（*1）。UT の付与に際しては、インフラ基盤「Progmat UT」、UT 発行体企業向けの Web アプリ「Token Manager」、UT 保有者向けのモバイルアプリ「Token Wallet」を活用いたします。

本 ST 及び UT の発行に係る取り組みにより、「Progmat」を活用した資産裏付型 ST の発行事例は 8 事例、ファンマーケティングを目的とした UT の発行事例は 3 事例となり、三菱 UFJ 信託銀行が受託者を務める資産裏付型 ST を発行目的とした受益証券発行信託の運用資産残高（AuM）は約 430 億円（*2）となる見込みです。

今後も三菱 UFJ 信託銀行は、テクノロジーの積極的な活用を通じて、様々な社会課題の解決に貢献してまいります。

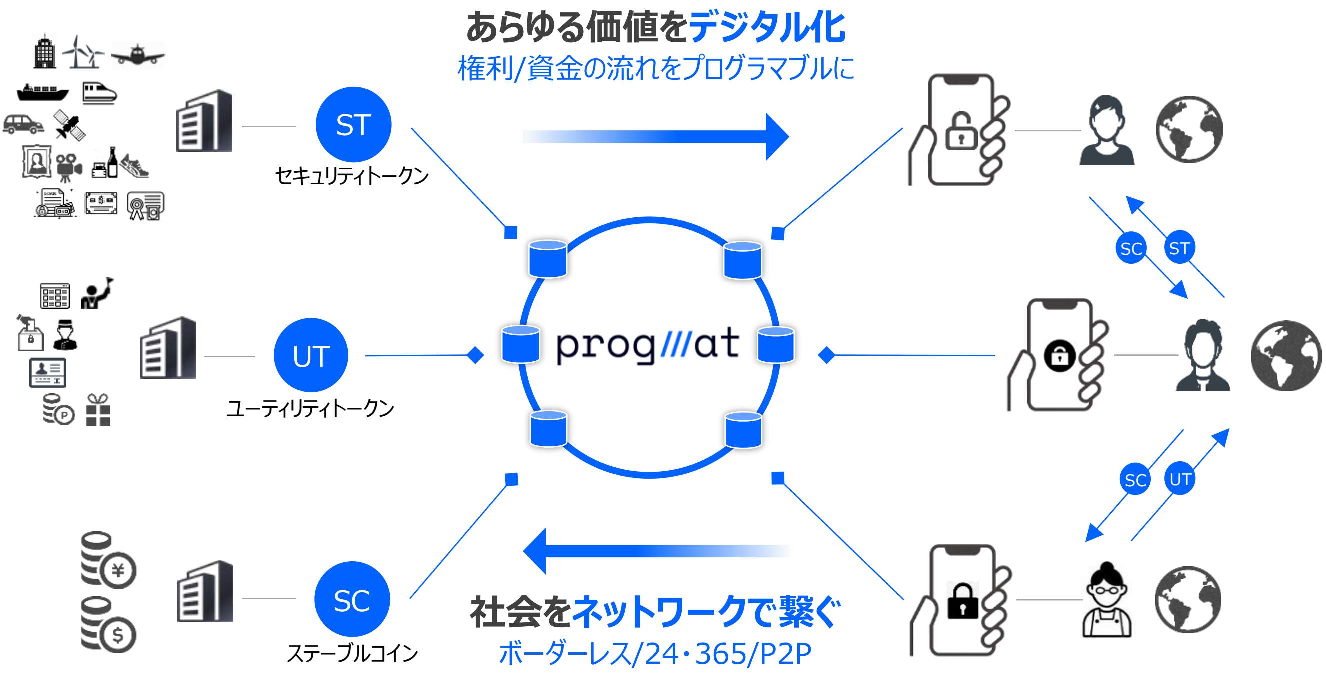
会社名	主な役割
三菱 UFJ 信託銀行	・ブロックチェーン基盤「Progmat」のシステム提供・保守 ・受益証券発行信託の受託業務（本 ST の受益権原簿管理を含む） ・本 ST のカストディ業務（秘密鍵の管理等） ・UT 発行体企業向けの Web アプリ「Token Manager」、UT 保有者向けのモバイルアプリ「Token Wallet」の提供・保守

以　上

*1…UT の付与時期、利用手続き等の詳細については、本日現在その全ては確定していません。したがって、前提条件に変更がある場合や優待の付与のための体制が整わない場合等には、優待の内容、利用上の条件、付与方法、付与時期、利用手続等が変更され、実施が停止され、又は優待の付与自体が行われない場合があります

*2…資産裏付型 ST を発行する受益証券発行信託における信託設定時の信託元本、又は直近の有価証券報告書上の総資産額を基に、三菱 UFJ 信託銀行により算出しています

◆「Progmat（プログマ）」について

Web サイトを公開しておりますので、以下 URL からご覧ください。

<https://www.tr.mufg.jp/progmat/>